

測定法の基礎的文献		
検 査 項 目	測定法基礎文献	検査実施施設 最終委託先
《蛋白含窒素成分》 総蛋白 アルブミン 蛋白分画 尿素窒素 尿酸 クレアチニン クレアチン アンモニア シスタチンC ベントシジン 《酵素》 AST ALT ALP (IFCC) LD (IFCC) LAP コリンエステラーゼ γ-GT グアナーゼ アデノシンデアミナーゼ (ADA) アミラーゼ リパーゼ トリプシン ホスホリパーゼA2 CK アルドラーゼ リゾチウム NAG アンギオテンシンI転換酵素 SOD (スーパーオキシサイドディスムターゼ) 《アイソザイム》 ALPアイソザイム BAP (骨型ALP) LDアイソザイム アミラーゼアイソザイム膵型 アミラーゼアイソザイム CKMB (CKアイソザイム) CK-MB CKアイソザイム ヘプシノゲンI/II比 ABC分類検査 《糖代謝》 グルコース グリコアルブミン HbA1c (ヘモグロビンA1c) 1,5AG ケトン体 ケトン体分画 乳酸 ビルビン酸 《脂質》 総コレステロール 遊離コレステロール HDLコレステロール LDLコレステロール コレステロール分画 中性脂肪 リン脂質 胆汁酸 脂肪酸分画 リポ蛋白分画 アポリポ蛋白 リポ蛋白 (a) レムナント様リポ蛋白コレステロール HDL2,3コレステロール リポ蛋白分画 (HPLC) リポ蛋白インリパーゼ (LPL) 《電解質・微量金属》 ナトリウム カリウム クロール 浸透圧 カルシウム 無機リン マグネシウム 鉄 (Fe) 鉄 (尿) 総鉄結合能 不飽和鉄結合能	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,452,金原出版,2015. ゞ谷 直人:日本臨床67,増刊号,8,2009. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,454,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,470,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,477,金原出版,2015. 大津 進:Medical Technology,26,389,1998. 今野 稔:Medical Technology,12,270,1984. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,480,金原出版,2015. 古川聡子,他:検査医学,67 (4),563,2018. 佐中 孜,他:腎と透析,56 (5),777,2004. 日本臨床化学会:臨床化学,18,226,1989. 日本臨床化学会:臨床化学,18,226,1989. Schumann,et al.:Clin Chem Lab Med,49 (9),1439,2011. Schumann,et al.:Clin Chem Lab Med,40 (6),643,2002. 金井正光,他:臨床検査法提要 第 34 版,586,金原出版,2015. 日本臨床化学会:臨床化学,32 (2),162,2003. 日本臨床化学会:臨床化学,24 (2),106,1995. 伊東 進:肝胆膵,11,448,1985. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,588,金原出版,2015. 日本臨床化学会酵素試薬専門委員会:臨床化学,34,350,2005. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,84,金原出版,2015. 吉田俊秀,他:ホルモンと臨床 ,28 (1),95,1980. 渡辺伸一郎,他:膵臓,6 (4),75,1991. 日本臨床化学会:臨床化学,19,184,1990. 井田雅祥:日本臨床,57 (増刊),345,1999. 船津 勝:化学と生物,5 (5),278,1967. 渡辺信子,他:JJCLA,20 (2),134,1995. Y,Kasahara:Chim,Chem,27 (11),1922,1981. 田中芳明,他:日本静脈経腸栄養学会誌,31 (1),312,2016. 芝紀代子:目でみる電気泳動法,255,医歯薬出版株式会社,1989. 倉澤健太郎,他:医学と薬学,55 (2),279,2006. 森山隆則,他:Medical Tecnology,25 (1),45,1997. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,562,金原出版,2015. 小山岩雄,他:Medical Tecnology,25 (4),323,1997. 米田孝司,他:医学と薬学,42 (3),461,1999. 五味邦英,他:臨床病理 (特集),60,105,1984. 金光房江:Medical Tecnology,25 (6),619,1997. 三木一正,他:瘡の臨床,38 (3),221,1992. 井上和彦,他:医学と薬学,72 (2),331,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,478,金原出版,2015. 長峰康孝,他:医学と薬学 ,51 (5),737,2004. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,493,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第35版,525,金原出版,2020. 日高芳樹:日本臨床,57 (増刊),639,1999. 日高芳樹:日本臨床,57 (増刊),639,1999. 池本正生,他:京都大学医短紀要,8,19,1988. 池本正生,他:京都大学医短紀要,8,19,1988. 前田朝美,他:日本臨床,57 (増刊),13,1999. 長山早苗,他:臨床検査機器・試薬,17,341,1994. 笈田耕治,他:日本臨床,57 (増刊),16,1999. 櫻林郁之介:日本臨床,57 (増刊),20,1999. 脇屋義彦,他:日本内科学会雑誌,70 (5),714,1981. 岡部紘明,他:日本臨床,57 (増刊),28,1999. 鈴木 博:日本臨床 ,57 (増刊),45,1999. 真重文子,他:臨床化学,8,191,1979. 小沢昭夫,他:分析化学,31,87,1982. 芝紀代子:目でみる電気泳動法2 55,1989. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,528,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,524,金原出版,2015. 田中 明:Prog Med,13 (6),71,1993 Yearul K ABIR,et al:I.Nutr.Sci.Vitaminol,33,341,1987. 廣渡祐史,他:臨床化学,41,327,2012. S.Tanaka,et al.:Internal Medicine,58,251,2019. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,662,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,665,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,666,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,667,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,538,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,544,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,542,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,548,金原出版,2015. Zettner,A.:Am,J,Clin,Patho,44,517,1965, 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,548,金原出版,2015. 金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,548,金原出版,2015.	i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 iii i,iv,i-1 viii v i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 iii i i,iv,i-1 viii viii v iii v iii i v i i iii viii viii i,iv,i-1 iii i,iv,i-1 i,iv,i-1 i i viii viii i,iv,i-1 viii i,iv,i-1 i,iv,i-1 iii i,iv,i-1 i,iv i,iv viii iii i i i viii v iii iii i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1 i i,iv,i-1 i,iv,i-1 i,iv,i-1

測定法の基礎的文獻		
検 査 項 目	測定法基礎文献	検査実施施設 最終委託先
銅(Cu)	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,550,金原出版,2015.	i
銅(尿)	清水盈行:日本臨床,43(上巻),550,1985.	v
亜鉛(血清・尿)	児玉浩子:日本臨床栄養学会,亜鉛欠乏症の診療指針,2018,09.	v
アルミニウム	Andorew Taylor,他:Ann Clin Biochem,29,377,1992.	v
《生体色素成分》		
総ビリルビン	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,532,金原出版,2015.	i,iv,i-1
直接ビリルビン	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,532,金原出版,2015.	i,iv,i-1
コプロボルフィリン(定性)	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,153,金原出版,2015.	iii
コプロボルフィリン(定量)	高久史磨:M.ボルフィリン代謝異常,p618~622	viii
δ-アミノレブリン酸	圓藤陽子:産業医学,35,126,1993.	iii
ウロボルフィリン定量	Nuttall,K.L,et al,:Ann.Clin.Lab.Sci.,26,313,1996.	iii
ボルフォビリノーゲン定量	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,153,金原出版,2015.	iii
ウロボルフィリン(血中)	近藤雅雄:臨床化学,17(1),36,1988.	iii
《生化学その他》		
結石分析	神 ちひろ,他:分析化学,53(7),735,2004.	v
シュウ酸	一色 玄,他:日本臨床,53(増刊),593,1995.	v
ヒアルロン酸	上野降登,他:肝臓,32(8),767,1991.	i
エタノール	馬嶋正隆,他:北里医学,14,424,1984.	v
デオキシビリジノリン	小泉 満,他:ホルモンと臨床,44(9),1011,1996.	v
total PINP	西沢良記,他:医学と薬学,54(5),709,2005.	v
TRACP-5b	西沢良記,他:医学と薬学,54(5),709,2005.	v
アミノ酸分析	平山千里,他:日本臨床,43(S上),264,,1985.	v
AICS(男性)	山門 實,他:人間ドッグ,31(5),681,2017.	v
AICS(女性)	山門 實,他:人間ドッグ,31(5),681,2017.	v
総分岐鎖アミノ酸/チロシン モル比	杉山正康,他:臨床病理,40(6),673,1992.	v
NTx(I型コラーゲン架橋Nテロペプチド)骨粗鬆症	Hanson DA,et al.:Journal of Bone and Mineral Research,7(11),1251,1992.	viii
ネオプテリン(血液)	稲葉真由美,他:日本内科学会誌,102(2),297,2013.	v
ホモシステイン	山口昭弘,他:臨床小児医学,374(3),109,1989.	viii
《ビタミン》		
β-カロチン	高島 弘:化学と教育,65(4),184,2017.	v
ビタミンA	美濃 眞:ビタミン,74,10,501,2000.	v
レチノール結合蛋白	岡婦美代,他:機器・試薬,12(6),1169,1989	iii
ビタミンB1	宮川秀則,他:生物試料分析,36(4),327,2013.	v
ビタミンB2	美濃 眞:ビタミン,74,10,501,2000.	v
ビタミンB6分画	岡崎 亮:日本臨床(増刊号),60(1),179,2010.	v
ビタミンB12	河口行雄,他:医学と薬学,41,145,1999.	viii
葉酸	安田和人,他:機器・試薬,25 (5),1,2002.	viii
ビタミンC	美濃 眞:ビタミン,74 10(10),2000.	v
1,25OH2ビタミンD	鈴木正司,他:臨床透析,14(3),371,1998.	v
25 ヒドロキソビタミンD	小島 哲:臨床化学,48(3),239,2019.	v
25 OH V.D(骨代謝)	浜口拓郎,他:医学と薬学,76(7),999,2019.	iii
25-OHビタミンD分画	岡崎 亮:日本臨床,68(増刊号1),180,2010..	viii
ビタミンE	阿部皓一,他:栄養と食料,28,277,1975.	viii
ビタミンK分画	北橋俊博,他:栄養学雑誌 ,49(3),105,1991.	v
ニコチン酸	宮沢 滋:ビタミン,56(9,10),487,1982.	iii
カルニチン分画	高柳 正樹:生物試料分析,35(4),281,2012.	iii
《視床下部・下垂体》		
GH	小山沙世,他:医学と薬学,68,899 ,2012.	viii
抗利尿ホルモン(ADHAVP)	田中誠仁,他:医学と薬学,72(8),1379,2015.	viii
ソマトメジンC	Isojima T,et al,: Endocr J,59(9),771,2012.	v
LH	中村 悟,他:医学と薬学,40(3),541,1998.	i,iv
FSH	中村 悟,他:医学と薬学,40(3),541,1998.	i,iv
プロラクチン	中村 悟,他:医学と薬学,40(3),541,1998.	i,iv
TSH	川崎芳正,他:医学と薬学,63(2),2010.	i,iv
ACTH	宮澤友香里,他:医学検査,68,(3),507,2019.	iii
《甲状腺》		
サイロキシソ(T4)	上條桂一,他:医学と薬学,40(2),387,1998.	i,iv
遊離サイロキシソ(FT4)	上條桂一,他:医学と薬学,40(2),387,1998.	i,iv,i-1
トリヨードサイロニン(T3)	上條桂一,他:医学と薬学,40(2),387,1998.	i,iv
遊離トリヨードサイロニン(FT3)	上條桂一,他:医学と薬学,40(2),387,1998.	i,iv,i-1
TBG	家入蒼生夫,他:日本臨床,63(増8),272,2005.	v
サイログロブリン	田中克浩,他:内分泌外会誌,42(1),44,2025.	v
抗サイログロブリン抗体	植木麻友,他:松江市立病院医学雑誌,9(1),19,2005.	viii
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	森田新二, 他:医学と薬学,55(5),775,2006.	viii
TSHレセプター抗体 (TRAb)	吉田島伸夫,他:日本臨床自動化学会誌,39(1),9,2014.	v
甲状腺刺激抗体 (TS-Ab)	上條桂一,他:医学と薬学,71(5),903,2014.	viii
TSH作用阻害抗体 (TS-B-Ab)	藤平隆司:産業医科大学誌,11(4).393.1989.	v
《副甲状腺》		
PTH-Intact	山岡美穂,他:医学と薬学,46(5),753,2001.	i
PTHrp-Intact	池田恭治:日内会誌,82,2017,1993.	viii
PTH-whole	山下弘幸,他:医学と薬学,41(2),243,2002.	viii
カルシトニン	北川 亘,他:内分泌甲状腺外会誌,34(1),32,2017.	iii
ucOC	西村 順,他:医学と薬学,57(4),52,2007.	iii
オステオカルシン	H Schmidt-Gayk,et al.:Clin Chem Lab Med,42(1),90,2004.	v
total P1NP	日高好博:医学と薬学,70(2),357,2013.	v
《消化管》		
インスリン	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,737,金原出版,2015.	i
C-ペプチド	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,737,金原出版,2015.	i
インスリン抗体	内潟安子,他:医学と薬学,65(4),525,2011.	iii
インスリンレセプター抗体	大森安恵,他:糖尿病,23(8),769,1980.	iii

測定法の基礎的文献		
検 査 項 目	測定法基礎文献	検査実施施設 最終委託先
抗GAD抗体 ガストリン 膵グルカゴン 《副腎髄質》 カテコールアミン分画(血液) カテコールアミン分画(尿) メタネフリン分画 遊離メタネフリン分画 VMA HVA 5-HIAA(血) 5-HIAA(尿) セロトニン 《副腎皮質》 17-KS6分画 11-OHCS コルチゾール(血中) コルチゾール(尿中) DHEA-S 《性腺》 HCG定性 HCG 遊離HCG-β プロゲステロン テストステロン 遊離テストステロン エストラジオール プレグナニジオール・トリオール 顆粒球エラスターゼ 癌胎児性フィブロネクチン 抗ミューラー管ホルモン 《腎・副腎》 レニン活性 レニン定量 アルドステロン ANP BNP エリスロポエチン レプチン アディポネクチン NT-pro BNP 《生理活性物質》 サイクリックAMP 高感度TNF-α インターロイキン6 可溶性IL-2レセプター(sIL2R) sFit-1/PLGF比 《腫瘍関連》 HER2遺伝子 EGFR遺伝子 AFP AFPレクチン分画(AFP-L3%) CEA PIVKA-II SCC抗原 NSE CA19-9 エラスターゼ1 CA125 CA15-3 y-Sm PSA (PA) DUPAN-2 シアリルLex抗原(CSLEX) シアリルLex-1抗原(SLX) NCC-ST439 BFP BCA-225 CA72-4 Span-1 CA602 p53抗体 CA54／61 HER2タンパク シフラ ProGRP I型コラーゲンCテロペプチド(1CTP) 高感度PSA 遊離型PSA比 PSA-ACT	及川洋一,他:医学と薬学,72(9),1551,2015. 河本 泉,他:日本内分泌・甲状腺外科学会誌,33(2),97,2016. 菊池 唯,他:医学と薬学,75(4),417,2018. 辻 潮,他:臨床検査機器・試薬,11(4),635,1988. 辻 潮,他:臨床検査機器・試薬,11(4),635,1988. 細田香織,他:杏林医会誌,46(3),207,2015. 竹越和弘:モダンメディア,65(9),20,2019. 細田香織,他:杏林医会誌,46(3),207,2015. 細田香織,他:杏林医会誌,46(3),207,2015. 白川淳二,他:日本臨床,48,175,1990 白川淳二,他:日本臨床,48,175,1990 西條清史,他:日本臨床,68(増7),433,2010. 西風 脩:臨床化学,16(2),85,1987. 斎藤善蔵,他:日本臨床,48,893,1985. 古屋 実,他:医学と薬学,74(7),819,2017. 関口昌江,他:医学と薬学,69(6),985,2013. 増戸梨恵,他:医学と薬学,56(3),443,2006. 友田 豊:産婦人科の実際,35,539,1986. Clinical Biochemistry ,21,151,1988. Cole LA:Clinical Chemistry,43(12),2233,1997. 板倉啓一,他:ホルモンと臨床,52(9),85,2004. 木内理世,他:医学と薬学,64(1),87,2010. 鈴木啓悦:日本臨床,68(増7),471,2010. 板倉啓一,他:ホルモンと臨床,52(9),85,2004. 藤間芳郎,他:日本臨床,68(増),466,2010 . 寺尾俊彦,他:産婦人科の実際,42(13),2021,1993. 千村哲朗:産婦人科の実際,44(1),79,1995 浅田義正,他:医学と薬学,72(1),109,2015. 宇津貴央,他:医学と薬学,73(3),311,2016. 佐藤文俊,他:医学と薬学,76(12),1827,2019. 佐藤文俊,他:医学と薬学,76(12),1827,2019. 佐藤弘樹,他:TOSOH Research&Technology Review,,57,23,2013. 泰江弘文,他:ホルモンと臨床,41,85,1993. 増田詩織,他:医学と薬学,67(2),297,2012. 新見道夫: 日本臨床,63(5),588,2005. 梁 美和,他: 日本臨床 63(増8),595,2005. 清野精彦,他: BIO Clinica,19(6),47,2004. 孫 孝義,他:日本内分泌学会雑誌,61(9),912,1985. 渡辺直樹:日本臨床,63(8),83,2005. 藤林真理,他:臨床検査,35(4),481,1991. 近藤 崇,他:医学検査,66(3),266,2017. Bian,X,et al:Hypertension,74(1),164,2019. Diane L.Persons,et al,:Annals of Clinical&Laboratory Science,30(1), 2000. 日本癌治療学会 大腸癌治療ガイドライン,2019. 石沢修二,他:医学と薬学,30(2),377,1993. Shimizu K,et al,:Clinica Chimica,56(6),3,1993. 藤田雄一,他:医学と薬学,40(3),531,1998. 小川愛美,他:医学検査,66(2),125,2017. 羽田真理子,他:医学と薬学,62(1),101,2004. 堀田多恵子,他:生物試料分析,34(5),345, 2011. 藤田雄一,他:医学と薬学,40(3),531,1998. 三浦富宏:日本臨床,57(増刊),543,1999. 新井智子,他:医学と薬学,40(4),759,1998. 古川郁子,他:医学と薬学,36(4),817,1996. 石田真也 他:泌尿紀要,31(6),961,1985. 金正正光,他:臨床検査法提要 第34版,600,金原出版,2015. 渡辺 正,他:臓臓,2(4),460,1987. 山本和子,他:東京女子医大誌,56,16,1995. 井村裕夫,他:癌と化学療法,14(5),1315,1987. 吉川 久,他:臨床病理,35(11),1233,1987. 市川孝日治,他:日泌尿会誌,91(7),579,2000. 杉山和義,他:日臨外医会誌,51(7),1380,1990. 青山 昭, 他:医学と薬学,19(1),127,2003. 大塚 誠,他:医学と薬学,20(3),733,1988 野沢志朗,他:KARKINOS,2(12),1375,1989. 島田英明:モダンメディア,54(8),11,2008. 野沢志朗,他:KARKINOS,2(12),1375,1989. 李保成一,他:医学検査,65(2),181,2016. 河合 忠,他:臨床検査機器・試薬,16(6),1232,1993. Yoshimura,T,et al,:Tumor Biol,29,224,2008,. 清原 剛,他:ホルモンと臨床,42(12),1189,1994. 李保成一,他:日本臨床検査自動化学会誌,25(2),160,2000. 武田 悟,他:Prog.Med,19(7),2279,1984. 大野明美,他:医学と薬学,49(2),325,2003.	viii v v v iii viii viii v v v v v viii viii iii i i iii i v i v v v v iii viii i v viii v viii viii iii v i,iv,i-1 iii i,iv,i-1 viii i viii i,iv,i-1 i i,iv,i-1 i,iv,i-1 v i,i-1 iii iii v iii iii v iii iii v i viii iii i,i-1 viii iii

資料

測定法の基礎的文獻

検 査 項 目	測定法基礎文献	検査実施施設 最終委託先
プロステートヘルスインデックス(phi)	鈴木和弘,他:モダンメディア,68(9),395,2022.	iii
尿中BTA	今村正明,他:泌尿器科紀要,46(10),705,2000.	iii
プロカルシトニン(PCT)	馬場正博:生物試料分析,22(2),121,1999.	iii
HE4(ヒト精巢上体タンパク4)	木村英三:産婦人科の実験,64(8),1055,2015.	viii
TFPI-2(組織因子経路インヒビター2)	明庭昇平,他:TOSOH Research&Technology Review,65,85,2021.	viii
《血中薬剤濃度》		
フェニトイン	川崎博巳:日本臨床,57(増刊),368,1999.	i
フェノバルビタール	川崎博巳:日本臨床,57(増刊),368,1999.	i
プリミドン	宮本 侃治:臨床化学,6(3),202,1978.	viii
カルバマゼピン	三浦寿男:小児科,18(11),1095,1977.	i
バルプロ酸	川崎博巳:日本臨床,57(増刊),368,1999.	i
エトスクシミド	宮本侃治:臨床化学,6(3),202,1978.	viii
クロナゼパム	伊賀立二,他:TDMの実験,業事報社,1993.	viii
ニトラゼパム	伊賀立二,他:TDMの実験,業事報社,1993.	viii
ジアゼパム	熊代 泳,他:診断と治療,77(5),1335,1989.	viii
アセタゾラミド	Sadee W,他:ドラッグレベリングモニタリング,90,1982.	v
スルチアム	乾 正,他:精神薬療基金研究年報,第10集,153,1973.	v
トリメタジオン	Adaway E,et al.:Ann Clin Biochem,52(1),18,2015.	viii
ゾニサミド	安田真依,他:機器試薬,38(2),205,2015.	v
リチウム	樋口 駿,他:日本臨床,57(増刊),383,1999.	i
ハロペリドール	上野 哲,他:日臨検自動化会誌,29(4),360,2004.	iii
プロムペリドール	上野 哲,他:日臨検自動化会誌,29(4),360,2004.	viii
ガバベンチン	古郡規雄,他:臨床神経薬理,10(4),659,2007.	viii
テオフィリン	西原カズヨ:日本臨床,57(増刊),397,1999.	i
ジゴキシ	山本康次郎:日本臨床,57(増刊),387,1999.	i
プロカインアミド	志賀 剛:J.ELECTROCARDIOLOGY,32(4),327,2012.	iii
ジソピラミド	上野和行:循環制御,35(3),255,2014.	v
メキシレチン	上野和行:循環制御,35(3),255,2014.	viii
アブリンジン	平尾見三:J.ELECTROCARDIOLOGY,31(2),199,2011.	viii
プロパフェノン	古本紗也佳,他:医学検査,68(3),481,2019.	viii
リドカイン	宮本侃治:臨床化学,6(3),202,1978.	iii
プロプラノロール	ARTIN AHNOFF,et al.: JChromatogr,340,73,1985.	v
サリチル酸	江藤精二,他:病院薬学,13(3),183,1987.	iii
アセトアミノフェン	郡司敦子,他:歯薬療法,28(3),109,2009.	iii
アミオダロン	児玉逸雄:J.ELECTROCARDIOLOGY,22(2),67,2002.	viii
シクロスポリン	M.Brater, et al.: Clin BioChem,43,1152,2010.	iii
アミカシン		viii
テイコブラニン	杉野 永,他:医学検査,63(4),471,2014.	viii
ゲンタマイシン	Jolley,M,E,et al.:Clin,Chem,27(9),1575,1981.	viii
バンコマイシン	伊賀立二,他:TDMマニュアル,172,2004.	viii
トブラマイシン	公益社団法人日治療学会・日本TDM学会:抗菌薬TDM臨床実践ガイドライン 2022.	iii
メトトレキサート	鈴木瑛真,他:医療検査と自動化,50(1),16,2025.	v
アルベカシン	日本化学療法学会・日本TDM学会:抗菌薬TDM臨床実践ガイドライン 2022.	iii
シベンゾリン	大塚 實,他:Pharma MecJica,14(9),155,1996.	viii
ビルメノール	浅野順治,他:薬学雑誌,123(11),981,2033.	viii
ビルシカイニド	清水賢巳,他:薬理と治療,22(8),357,1994.	v
フレカイニド	中川 励,他:医薬ジャーナル,38(11),103,2002.	viii
タクロリムス	古谷 実,他:医学と薬学,70(5・6),961,2013.	viii
クロバザム	中島裕之,他:日薬理誌,118,117,2001.	viii
トピラマート	山本吉章,他:医療薬学,37(7),411,2011.	viii
ラコサミド	重藤寛史:日本内科学会誌,107(6),1108,2018.	viii
ラモトリギン	北村正樹:耳展,52(1),51,2009.	viii
レベチラセタム	赤松直樹:日老医誌,58,529,2021.	viii
ペランパネル	花田敬久:脳21,16(3),322,2013.	v
トリアゾラム		viii
フルニトラゼパム		viii
乱用薬物スクリーニング	Asselin,W,M,et al.:J,Anal,Toxicol 12,207,1988.	viii
覚醒剤スクリーニング	Asselin,W,M,et al.:J,Anal,Toxicol 12,207,1988.	viii
《血漿蛋白》		
免疫電気泳動	佐藤裕久,他:電気泳動:59,45,2015.	v
IgG	望月照次,他:Medical Technology,16(8),745,1998.	i
IgA	望月照次,他:Medical Technology,16(8),745,1998.	i
IgM	望月照次,他:Medical Technology,16(8),745,1998.	i
非特異的IgE	木谷孔保,他:医学と薬学,30(3),635,1993.	i
特異的IgE(RAST)CAP	奥田 勲,他:医学検査,46(10),1525,1997.	i
TARC	市原洋二,他:検査医学64(6),755,2015.	viii
Viewアレルギー39	鈴木義徳,他:医学と薬学,70(5,6),975,2013.	viii
ブレアルブミン	岡婦美代,他:臨床検査機器・試薬,12(6),1169,1989.	v
α1-アンチトリプシン	高本正祇:呼吸,3(7),886,1984	v
α1-マイクログロブリン	伊東喜久:日本臨床,67(増刊),278,2009.	i
α1-酸性糖蛋白	渡邊 崇,他:日本臨床,67(8),254,2009.	iii
α2-マイクログロブリン	斎藤憲祐:臨床病理,(特101),38,1996.	v
セルロプラスミン	青木継継:Biomed Res Elements, 15(4),307,2004.	v
シアル化糖鎖抗原KL-6	高松久美子,他:医学と薬学,62(3),491,2009.	i
サーファクタントプロテインA(SP-A)	大木 卓,他:医学と薬学,71(1),161,2014.	v
サーファクタントプロテインD(SP-D)	本田泰人,他:医学と薬学,36(4),809,1996.	v
トランスフェリン	糸賀 栄,他:日本臨床,67(増刊),270,2009.	i
トランスフェリン(尿)	三崎盛治,他:日本臨床,60(8),550,2002.	v
バイログロブリン	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,781,金原出版,2015.	i
ハプトグロビン	臼杵憲祐:日本内科学会誌,104(7),1389,2002.	v

資料

測定法の基礎的文獻

[illegible]

クラミジア・トラコマチス抗体IgG・IgA (EIA)	松本 明,他:感染症学雑誌,66(5),584,1992.	i
アスペルギルス抗体 (CF)	堀口祐司:感染症学雑誌,78(7),566,2004.	viii
トキソプラズマ抗体IgG・IgM (CLEIA)	Francesca Genco,et al.:New Microbiologica,42(2),88,2019.	iii
エヒノコックス抗体	佐藤秀男,他:道衛研所報,33,8,1983.	iii
カンジダ抗体	鈴木紀夫:感染症学会誌,66(2),156,1992.	v
ツツガム抗体	天野憲一:日本臨床,68(6),237,2010.	iii
百日咳菌抗体 (PT・FHA)	岡田賢司:医学と薬学,65(4),531～536,,2011.	v
百日咳抗体IgA・IgM	小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2017.	v
マイコプラズマ抗体 (CF)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版 1973. (丸善)	v
マイコプラズマ抗体 (半定量)	金兼弘和,他:小児科診療,56(10),1967,1993.	viii
クラミドフィラ・ニューモニエIgA・IgG・IgM抗体	岸本寿男,他:感染症学誌,70(8),821,1996.	v
ヘリコバクター・ピロリ抗体	権頭健太,他:日本消化器がん検診学会雑誌,55(4),547,2017.	viii
ヘリコバクター・ピロリ抗体 (尿中)	Katuragik,et al.;Hericobacter,3(4),289,1998.	iii
クラミジア・シタタシ抗体IgG,IgM	厚生省監修:微生物検査必携ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 (第3版),125,1987.	v
インフルエンザ流行予測株	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実践学総論 版,214,1973.	v
MAC抗体定性 (抗酸菌抗体)	北田 清悟,他:呼吸器内科 27(1):18～23, 2015.	
《感染症》		
CRP (定量)	金井正光,他:臨床検査法提要 第35版,492,金原出版,2020.	i.iv.i-1
ASO	中山哲夫:日本臨床,67(増刊),135,2009.	l.iv
寒冷凝集反応	浜田清貴:体外循環技術,33(1),1,2006.	viii
エンドキシン (血液)	田村弘志,他:Medical Technology,22(1),21,1994.	iii
透析液中エンドキシン	山本千恵子:透析会誌,30(6),911,1997.	viii
透析中R2A-MF	樽村友隆,他:透析会誌,42(1),85,2009.	viii
透析中エンドキシンRO	松葉 隆,他:透析会誌,41(3),159,2008.血液浄化器性能評価基準2008.	viii
(1-3)β-Dグルカン	吉田耕一郎,他:日本感染症学会誌,78(5),435,2004.	v
プロカルシトニン	馬場正博:生物試料分析,22(2),121,1999.	iii
トリコスポロン・アサヒ抗体	新井 徹,他:呼吸器科,13(5),404,2008,	v
《全身性自己抗体》		
RF定量	金井正光,他:臨床検査法提要 第35版,930,金原出版,2020.	i.iv.i-1
IgG型リウマチ因子 (IgG-RF)	栗原夕子,他:リウマチ科,22(5),499,1999.	v
抗核抗体 (FA)	長岡研吾,他:Medical Technology,9(3),214,1981.	iii
インスリン抗体	村山 寛,他:医学と薬学,60(2),289,2008.	iii
抗ミトコンドリア抗体	大曲勝久,他:医学と薬学,50(4),543,2003.	iii
抗ミトコンドリア抗体M2	坪井五三美,他:検査医学,69,602,2020.	iii
抗DNA抗体 (RIA)	伊藤光泰,他:核医学,26(3),439,1989.	viii
抗dsDNA抗体IgG	生戸健一,他:医学検査,66(3),234,2017.	viii
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山吉朗,他:医学と薬学 ,42(5),817,1999.	viii
抗Jo-1抗体 (CLEIA)	松下雅和,他:医学と薬学,70(1),109,2013.	viii
抗RNP抗体 (CLEIA)	松下雅和,他:医学と薬学,70(1),109,2013.	v
抗Sm抗体 (CLEIA)	松下雅和,他:医学と薬学,70(1),109,2013.	v
抗Scl70抗体 (CLEIA)	松下雅和,他:医学と薬学,70(1),109,2013.	v
抗SS-A/Ro抗体 (CLEIA)	松下雅和,他:医学と薬学,70(1),109,2013.	v
抗セントロメア抗体 (CLEIA)	松下雅和,他:医学と薬学,70(1),109,2013.	v
抗SS-B/La抗体 (CLEIA)	松下雅和,他:医学と薬学,70(1),109,2013.	v
抗ssDNA抗体IgG	青塚新一,他:アレルギー,31(7),439,1982.	v
抗カルジオリピン抗体	阿部靖光,他:血栓止血誌,29(3),294,2018.	v
抗カルジオリピン抗体IgM	長屋聡美,他:モダンメディア,67(3),146,2021.	v
抗カルジオリピンβ2グリコプロテイン複合体抗体	山本美保子,他:臨床血液,34(7),879,1993.	iii
抗CL-β2GPI複合体抗体 (IgG・IgM)	小川昌起,他:医学と薬学,78,447,2021.	
抗血小板抗体	富山佳昭:日本輸血細胞治療学会誌,64(6),681,2018.	viii
PAI-gG	川口竜二,他:臨床化学,15(5),277,1986.	v
ループスアンチコアグラント	香山浩二,:日産婦誌,51(7),N-182,1999.	viii
ループスアンチコアグラント (SCT法)	渥美達也:平成26年度日本内科学会障害教育講演会 2014.	viii
ループスアンチコアグラント (APTT法)	山崎 哲:血栓止血誌,27(6),636,2016.	viii
MMP-3 (マトリックスメタロプロテインナーゼー3)	氏家真二,他:医学と薬学,51(3),503,2004.	i
抗PE抗体 (抗フォスファチジルエタノールアミン抗体)	山本樹生,他:Reproductive immunology and Biology,28(1),11,2013.	v
抗aPS/PT抗体	Alexandru Viagea,et al.;Clinical and Applied Thrombosis/Hemostasis.19(3),289,2013.	viii
リン脂質パネル	大友耕太郎,他:日本臨床免疫学会会誌,36(2),63,2013.	viii
《組織特異性自己抗体》		iii
抗胃壁細胞抗体	今村祐志:Gastroenterological Endoscopy,60(8),1444,2018.	
抗平滑筋抗体	山田 巖,他:九州大学医療技術短期大学部紀要.14,23,1987.	iii
抗糸球体基底膜抗体	清水芳男,他:日腎会誌,51(2),94,2009.	v
抗心筋抗体	吉川 勉:心臓,37(10),880,2005.	viii
抗精子抗体	香山浩二,他:日本産婦人科学会雑誌,42(11),N209,1990.	v
抗皮膚抗体	吉岡順子:皮膚,23(1),29,1981.	iii
抗デスモグレインI抗体	布袋祐子,他:臨床皮膚科,53(11),1081,1999.	viii
抗デスモグレインⅢ抗体	布袋祐子,他:臨床皮膚科,53(11),1081,1999.	viii
ICA	新城孝道:東京女子医科大学誌,52(5),778,1982.	iii
抗アセチルコリンレセプター抗体	大田光照,他:ホルモンと臨床,48(1),89,2000.	viii
抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA)	有村義宏:日サ会誌,39,19,2019.	v
抗好中球細胞質抗体 (MPO-ANCA)	有村義宏:日サ会誌,39,19,2019.	v
抗CCP抗体	Suzuki K,et al.:Scand J Rheumatol,32,197,2003.	i
抗IA-2抗体	鴨井久司,他:医学と薬学,45(5),1041,2001.	iii
抗LKM1抗体	竹村真理,他:医学と薬学,46(1),109,2001.	v
抗BP180NC16a抗体	越後岳士:日静栄養会誌,32(5),145,2017.	v
抗アクアポリン4抗体	高橋利幸,他:モダンメディア,60(4),153,2014	v
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	桑名正隆,他:リウマチ科,40(3),239,2008.	iii
抗MDA抗体	吉岡華子,他:モダンメディア,63(4),89,2017.	viii
抗Mi-2抗体	Fujimoto M,et al.;J Dermatol Sci,84(3),272,2016.	viii
抗TIF-1γ抗体	平形道人,他:臨床リウマチ,25,149,2013.	viii

資料

測定法の基礎的文獻

検 査 項 目	測定法基礎文献	検査実施施設 最終委託先
《免疫血液》		
血液型ABO式	原 宏:輸血の実際,新興医学出版,1986.	i,iv
血液型Rh(D)式	原 宏:輸血の実際,新興医学出版,1986.	i,iv
血液型RH-Hr式	原 宏:輸血の実際,新興医学出版,1986.	i
直接クームス試験	原 宏:輸血の実際,新興医学出版,1986.	i
間接クームス試験	原 宏:輸血の実際,新興医学出版,1986.	i
不規則抗体	原 宏:輸血の実際,新興医学出版,1986.	i
HLA-AB	猪子英俊,他:日本臨床免疫学会,13(2),103,1990.	v
HLA-DRB1	後藤 香織,他:病理と臨床 16(6):711~716, 1998.	iii
PA-IgG	川口竜二,他:臨床化学,15(5),277,1986.	v
リンパ球混合培養(MLC)	桑田昇治:日本臨床,57(増),693,1999.	v
《血液》		
末梢血液一般検査	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,237,金原出版,2015.	i,iv,i-1
網赤血球数	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,237,金原出版,2015.	i,iv,i-1
好酸球数	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,237,金原出版,2015.	i,iv,i-1
末梢血液像(自動機械法)	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,237,金原出版,2015.	i,iv,i-1
末梢血液像(鏡検法)	日野志郎:血液学,医歯薬出版,168,1984.	i
好塩基性斑点赤血球	日野志郎:血液学,医歯薬出版,24,1984.	i
《凝固・線溶系》		
PT	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,395,金原出版,2015.	i
APTT	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,392,金原出版,2015.	i
フィブリノゲン	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,402,金原出版,2015.	
可溶性フィブリンモノマー複合体(定性)	和田 英夫,他:医学と薬学 60(4),679,2008.	v
フィブリンモノマー(定量)	内藤 澄悦,他:医学と薬学 48(4),595,2002.	v
FDP	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,432,金原出版,2015.	i/v
第13因子	安達眞二:Medical Technology,24(6),629,1996.	v
プラスミノゲン活性	窓岩清治:血栓止血誌,18(4),317,2007.	viii
α2プラスミンインヒビター	佐野秀人,他:血栓止血誌,29(6),573,2018.	viii
α2-PIC	佐野秀人,他:血栓止血誌,29(6),573,2018.	viii
第8因子インヒビター	高松純樹:日本臨床,57(増),604,1999.	viii
第9因子インヒビター	日笠 聡:日本臨床,57(増),611,1999.	viii
アンチトロンビン活性(抗原量)	岡野美代,他:臨床検査機器・試薬,10,416,1987.	iii
第8因子様抗原	高橋幸博:日本臨床,53(増),100,1995.	v
PAI-1(プラスミノゲンアクチベーターインヒビター1)	曾我部万紀,他:医学のあゆみ,173(12),997,1995.	viii
β-トロンボグロブリン	高橋芳右,他:血液と脈管,18(4),326,1987.	iii
プロテインC(抗原量)	筒井聡明,他:検査と技術,12(7),581,1984.	v
プロテインC(活性)	藤岡 貴:医学と薬学,73(5),621,2016.	v
プロテインS(抗原量)	安藤秀実,他:医療と検査機器・試薬,41(5),509,2018.	v
プロテインS(活性)	藤岡 貴:医学と薬学,73(5),621,2016.	v
プロテインS(遊離型抗原量)	阪田敏幸,他:医学と薬学,51(1),167,2004.	v
血小板第4因子	高橋芳右,他:血液と脈管,18(4),326,1987.	v
Dダイマー	末廣 謙,他:臨床病理,39,694,1991.	i
TAT	東田修二,他:日本血栓止血会誌,1(1),67,1990.	i
第 2,5,7,8,9,10,11,12 因子	安達眞二:Medical Technology,24(6),629,1996.	viii
フォン・ウィルブランド因子	Macfarlane DE.,et al.:Thrombos Diathes Haemorth,34,306,1975.	v
トロンボモジュリン	横内敬二,他:医学と薬学,44(4),795,2000.	viii
vW因子マルチマー解析	樋口由佳:血栓止血誌,33(6),707,2022.	v
プロトロンビンフラグメントF1+2	高橋芳右,他:血栓止血会誌,2(6),469,1991.	viii
《細胞性免疫》		
CD-Single	Stephen H,et al:Clin_Chem,28(9),1905,1982.	iii
CD-Two color	工藤 肇,他:臨床病理,33(12),1367,1985.	iii
CD45ゲーティング	増田亜希子:Cytometry Research,23(2),15,2013.	v
HLA-DR	Ip,S.H.,:Clin.Chem,28(9),1905,1982.	iii
LST(DLST)	内田重行,他:肝臓,30(4),439,1989.	v
NK細胞活性	安保 徹:日本臨床,48(増),726,1990.	v
T-B細胞百分率	江口 勝,他:臨床検査,34(6),685,1990.	iii
B細胞表面免疫IgA	田沢裕光,他:臨床病理,33(4),426,1985.	iii
B細胞表面免疫IgD	田沢裕光,他:臨床病理,33(4),426,1985.	iii
B細胞表面免疫IgG	田沢裕光,他:臨床病理,33(4),426,1985.	iii
B細胞表面免疫IgM	田沢裕光,他:臨床病理,33(4),426,1985.	iii
B細胞表面免疫グロブリンκ	田沢裕光,他:臨床病理,33(4),426,1985.	iii
B細胞表面免疫グロブリンλ	田沢裕光,他:臨床病理,33(4),426,1985.	iii
幼若化試験(PHA)	内田重行,他:肝臓,30(4),439,1989.	v
幼若化試験(ConA)	内田重行,他:肝臓,30(4),439,1989.	v
Th1/Th2	松崎 聡,他:信州医誌,51(1),9,2003.	v
《染色体》		
G-Banding	W.Show, Environmental Health Perspectives,11,151,1973.	v
C-Banding	Sumner AT,et al.:Exp ell Res,75,304,1972.	v
Q-Banding	Caspersson T,et al.:Hereditas,67,89,1971.	v
染色体高精度分染法	新平鎮博:大阪市立大学生生活科学部紀要,34,273,1986.	v
血液疾患染色体(骨髓液・末梢血)	W.Show,: Environmental Health Perspectives,11,151,1973.	v
染色体脆弱X染色体	橋本龍一郎:日本生物学的精神医学会誌,23(1),15,2012.	v
先天異常染色体G分染法	W.Show,: Environmental Health Perspectives,11,151,1973.	v
《細菌・微生物検査》		
百日咳菌培養	国立感染症研究所 病原体検査マニュアル 百日咳菌培養	iii
細菌塗抹検査	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1007,金原出版,2015.	i
抗酸菌染色チールネルゼン	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1048,金原出版,2015.	i
抗酸菌塗抹蛍光染色法	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1048,金原出版,2015.	i
細菌簡易培養	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1017,金原出版,2015.	i

測定法の基礎的文獻

検 査 項 目		測定法基礎文獻	検査実施施設 最終委託先
真菌	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1064,金原出版,2015.	i	
カンジダ	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1070,金原出版,2015.	i	
トリコモナス原虫培養	吉田幸雄:図説人体寄生虫学南山堂,2006.	i	
皮膚糸状菌培養	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1070,金原出版,2015.	i	
キャンピロバクター	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1098,金原出版,2015.	i	
腔トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム(TV/MG)	(TV)Barbara Van Der Pol,at,al,;Journal of Clinical Microbiology,59(10),1,2021 (MG)Barbara Van Der Pol,at,al,; Journal of Clinical Microbiology,58(6),1,2020	iii	
淋菌培養	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1094,金原出版,2015.	i	
嫌気性菌培養	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1018,金原出版,2015.	i	
同定口腔,気道又は呼吸器	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1084,金原出版,2015.	i	
同定消化器	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1095,金原出版,2015.	i	
同定泌尿器又は生殖器	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1090～1093,金原出版,2015.	i	
同定血液又は穿刺液	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1077～1081,金原出版,2015.	i	
同定その他の部位	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1109～1111,金原出版,2015.	i	
赤痢,サルモネラ菌	微生物検査必携 細菌・真菌検査 第2版 日本公衆衛生協会.	i	
細菌感受性検査	金井正光,他:臨床検査法提要第34版,1033,金原出版,2015.	i	
抗酸菌培養	金井正光,他:臨床検査法提要第34版,1048,金原出版,2015.	i	
ヘリコバクターピロリ培養	大崎敬子,他:Prog.Med,15(12),2668,1995.	iii	
ヘリコバクターピロリ感受性検査	那須 勝,他:日本化学療法学会誌,50(1),50,2002.	iii	
尿素呼吸気試験	加藤元嗣,他:新薬と臨床,47,1071,1998.	i	
大腸菌ベロ毒素(VT1/VT2)(ELISA)	渡辺昌三,他:医学と薬学,39(2),341,1998.	i	
結核菌群核酸同定(PCR)	大島利夫,他:機器・試薬,19,483,1996.	i	
抗酸菌核酸同定(PCR)	大島利夫,他:機器・試薬,19,483,1996.	i	
虫卵培養検査	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1174,金原出版,2015.	i	
虫卵塗沫法	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1172,金原出版,2015.	i	
虫卵集卵法	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,1172,金原出版,2015.	i	
尿糖定量	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,139,金原出版,2015.	i	
尿中食塩(試験紙法)	栃久保修,他:医学のあゆみ,131,545,1984.	i	
BJ蛋白定性	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,753,金原出版,2015.	i	
便 Hb/Tf(金コロイド法)	三好博文,他:日消集検誌,83(6),97,1989.	v	
尿蛋白定量	金井正光,他:臨床検査法提要 第32版,171,金原出版,2005.	i	
アルブミン定量(尿)	熊坂一成:日本臨床,67(増刊),97,2009.	i	
トランスフェリン(尿)	三崎盛治,他:日本臨床,47(11),95,1989.	i	
尿沈渣	JAMIT技術教本シリーズ 一般検査技術教本,丸善株式会社 2017.	i	
尿中一般物質定性	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,124,金原出版,2015.	i	
便ヘモグロビン精密(LA)	山本慶和,他:日本臨床検査自動化学会会誌,16,36,1991.	i	
関節液検査	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,207,金原出版,2015.	i	
胸水、腹水検査	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,200,金原出版,2015.	i	
髄液検査	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,212,金原出版,2015.	i	
精液検査	金井正光,他:臨床検査法提要 第34版,223,金原出版,2015.	i	
細胞診	平井康夫監訳:ベセスダシステム2014 アトラス.	ii	
病理組織	日本病理学会:病理技術マニュアル3病理標本作製技術(上).		
病理組織特殊染色法	日本病理学会:病理技術マニュアル3病理標本作製技術(上)(下),医歯薬出版,1981.	ii	
病理組織免疫抗体法	広橋説雄,編:病理と臨床8(臨時増刊号 腫瘍マーカーの新展開):医歯薬出版,1981.	ii	
HER2/neuタンパク	Modi S,et al,N Engl J Med,38(1),9,2022.	iii	
クレアチニンクリアランス	大澤 進:Medical Technology,26,389,1998.	i	
《負荷試験》			
フィッシュバーグ試験	金井正光,他:臨床検査法提要 第32版,1431,金原出版,2005.	i	
ICG試験	佐々木伸弥,他:医療,31(11),35,1977.	viii	